

松阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和7年度評価結果

松阪市企画振興部経営企画課

R8.5

松阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価結果一覧表

≪ 数値目標 ≫

指 標	現状値 (R5)	R6	R7実績値	R8	R9	目標値 (R9)	種別	評価	内部評価
人口 ^{※1}	154,547 人	153,226 人	151,703 人			148,718 人	→	C	人口減少に歯止めがかかっていない状況にある。引き続き人口減少に対応する取組を進める必要がある。
合計特殊出生率 ^{※2} (現状値はR4・R7実績値はR6)	1.31 人	1.22 人	1.17 人			1.41 人	↑	E	本市の合計特殊出生率は下降傾向にあり、三重県の出生率1.24より低くなっている。今後も更に子育て環境の充実に取り組む必要がある。
現在の生活への満足度 ^{※3}	74.6 %	76.2 %	74.4 %			77.0 %	↑	E	満足度はR6よりも1.8ポイント低下し、現状値(R5)を下回る結果となった。引き続き満足度の上昇に向けた取組を進めていく。

※1 令和2年国勢調査より。各年度の基準日は10月1日。住民基本台帳による人口動態（自然増減、社会増減）により各年度の人口を推計したもの（推計人口）。

※2 三重県の人口動態「衛生統計年報 第5表人口動態総覧（率）－保健所・市町別」より

※3 市民意識調査より

≪ 参考資料 ≫ 住民基本台帳による松阪市の総人口（基準日：10月1日）

	R5	R6	R7	R8	R9
松阪市の総人口（住民基本台帳）	157,646 人	156,325 人	154,802 人		

前年との比較

△ 1,321

△ 1,523

松阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価結果一覧表

分野	I. 定住促進	基本目標	住みたい・住み続けたいまちをつくります						
指 標	現状値 (R5)	R6	R7実績値	R8	R9	目標値 (R9)	種別	評価	内部評価
総合的にみて松阪市は住みやすいまちと 感じる人の割合	80.8 %	80.3 %	77.9 %			85.0 %	↑	E	前年に比べて2.4ポイント低下し、現状値 (R5)を下回った。住みやすいまちと感じ ていただけるよう、定住促進の取組を進め たい。

施策名	番号	指 標	現状値 (R5)	R6	R7実績値	R8	R9	目標値 (R9)	種別	評価	内部評価
① 魅力あるまちづくり	1	転入者数	4,717 人	4,925 人	4,911 人			4,756 人	↑	S	R7は前年に比べて14人の減少となったが、 目標値よりも多い結果となった。中期的 には社会減の傾向にあることから、引き続 き定住促進の取組に努めたい。
	2	転出者数	5,146 人	4,960 人	5,069 人			5,106 人	↓	S	R7は前年に比べて109人の増加となったが、 目標値よりも少ない結果となった。中期的 には社会減の傾向にあることから、引き続 き定住促進の取組に努めたい。
	3	空家バンク契約成立件数（累 計）※中山間地域	136 件	164 件	186 件			216 件	↑	C	空き家バンクの利用希望者は年々増加して いるが物件が不足している。引き続き地域 と連携した物件登録の促進に取り組んでい く。
	4	「お出かけ」交通を導入した 地域	1 地域	1 地域	1 地域			3 地域	↑	E	前年と同数ではあるが、新たに1地域に対し 導入に向けて制度面、財政面での助言等支 援を行い、令和8年4月導入に繋げることが できた。
	これまでの主な取組 ○タクシーの運行エリアであるが、路線バス停留所や鉄道駅などまで距離がある虹が丘町自治会が導入するコミュニティ交通を支援しました。（R1～R2） ○地域主体で導入した虹が丘町の乗合タクシーの利用促進について、地域、運行事業者、行政で利便性向上に向けて運行形態について協議しています。（R3～） ○空家バンク制度を推進し、空き家の有効活用に取り組みました。（H26～） ○地域おこし協力隊を活用し、中山間地域の魅力発信や地域資源の活用、地域を担う人材育成等に取り組みました。（R1～） ○移住相談総合窓口「まつさか移住交流センター」を拠点に、土日対応で移住・定住促進に取り組みました。（R2～） ○サテライトオフィスを活用し、地域経済の活性化と交流人口・関係人口の増加を促進しました。（R2～）										

松阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価結果一覧表

施策名	番号	指 標	現状値 (R5)	R6	R7実績値	R8	R9	目標値 (R9)	種別	評価	内部評価
② 松阪市の魅力発信	1	市ホームページにおける月平均閲覧数	219,906 件	223,360 件	228,152 件			220,000 件	→	C	松阪市制20周年記念特設サイトや補助金・支援金のまとめサイトを開設し情報の整理を行った。今後も探しやすく、わかりやすい情報提供に取り組んでいく。
	これまでの主な取組 ○移住定住の情報発信を強化するため「移住定住」のサブサイトをリニューアルし、公開した。(R1～) ○松阪市公式インスタグラムでキャンペーンを実施し、フォロワー数の増加を図った。(R1～) ○松阪市内の飲食店のPR・情報発信をするため、松阪市内店舗PR動画「ウチの逸品」を作成・公開した。(R2～) ○観光情報の発信を強化するため、R28から公開している「観光プロモーションサイト」に加えて、松阪市観光インフォメーションサイト「ワクワク松阪」を公開した。(R2～) ○子育て世代が必要な情報をよりわかりやすく発信するため「松阪市の子育て情報サイト」を作成し、公開した。(R3～) ○ホームページ機能の向上など、より探しやすく見やすいホームページをめざし、令和5年2月にホームページのリニューアルを行った。(R4～) ○市制20周年を広く周知するため、「松阪市制20周年記念特設サイト」を作成し、公開した。(R7) ○補助金・支援金など各担当部署ごとに点在していたため、まとめサイトである「補助金・支援金サブサイト」を作成し、公開した。(R7～)										

分野	Ⅱ. 少子化対策		基本目標	結婚・妊娠・出産の希望がかない、次世代を担うこどもを健やかに育てるまちをつくります							
指 標	現状値 (R5)	R6	R7実績値	R8	R9	目標値 (R9)	種別	評価	内部評価		
こどもたちがのびのび育つ環境への満足度	2.99 /5	3.02 /5	3.04 /5			3.10 /5	↑	D	R6よりも満足度は0.02上がっているが、目標値には0.06届かなかった。引き続き子育てしやすい環境づくりに取り組んでいく。		
こどもたちが安心して教育を受けられる環境への満足度	3.12 /5	3.49 /5	3.11 /5			3.25 /5	↑	E	R6よりも満足度は0.38下がっており、目標値の3.25を0.14下回った。引き続き安心して教育が受けられる環境づくりに取り組んでいく。		

施策名	番号	指 標	現状値 (R5)	R6	R7実績値	R8	R9	目標値 (R9)	種別	評価	内部評価
① 結婚	1	20～49歳の未婚率	41.3 %	41.6 %	42.5 %			39.0 %	↓	E	未婚率については0.9ポイントの増となった。結婚は個人の価値観が尊重されるべきものであるため、結婚・出産や子育ての希望をかなえることができる環境づくりに引き続き取り組んでいく。
	これまでの主な取組 ○出逢い創出事業を通じて、未婚者の結婚意識の高揚を図り、少子化及び定住化対策を目的としてイベントを開催することにより、独身男女に出会いの場を提供した。 R2=21名参加（カップリングは追わず）R3=56名参加（カップリングは追わず）※令和2年度より、リバーサイド茶倉指定管理委託事業として実施 R5=21名参加 カップリング数3組 ※みえ結婚支援プロジェクト 県と市町が広域的に連携して新たな出逢いの創出事業を実施 R6=38名参加 カップリング数4組 ※みえ結婚支援プロジェクト 県と市町が広域的に連携して新たな出逢いの創出事業を実施 R7=17名参加 カップリングは行わず ※みえ結婚支援プロジェクト 県と市町が広域的に連携して新たな出逢いの創出事業を実施										

松阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価結果一覧表

施策名	番号	指 標	現状値 (R5)	R6	R7実績値	R8	R9	目標値 (R9)	種別	評価	内部評価
② 出産	1	乳児家庭全戸訪問事業実施率	99.1 %	99.6 %	99.0 %			100.0 %	↑	E	R7は未訪問家庭については全数把握できているものの、前年に比べて0.6ポイント低下し、現状値（R5）を下回った。支援が必要な方の早期発見・介入のため引き続き全戸訪問に取り組んでいく。
	2	松阪市で今後も子育てしていきたいと思う保護者の割合	97.4 %	96.9 %	97.1 %			100.0 %	↑	E	R7は前年に比べて0.2ポイント上昇したが、依然として現状値（R5）を下回っている。引き続き母子保健と児童福祉が一体的に、切れ目ない相談支援に努める。
	これまでの主な取組 ○妊娠・出産・子育て期の切れ目のない支援を行う「松阪版ネウボラ」を推進し、松阪版ネウボラの拠点として健康センター（H27～旧健康センター H29～健康センターはるる）と嬉野保健センター（H30～）を「子育て世代包括支援センター」として活動。 ○新型コロナウイルス感染症対策の一環で家庭での仕事や生活が長期化しがちなライフスタイルの中、妊産婦や乳幼児の保護者を対象に悩みや不安を軽減するための個別のオンライン相談を実施。（R2～） ○コロナ禍で感染ハイリスクとされる妊婦を対象に健やかな妊娠期を送れるように少人数制でオンラインでのプレママ教室を実施。（R2～） ○多胎児を妊娠中または未就学の多胎児を子育て中の保護者を対象に、多胎児家庭の結びつきと多胎児の育児経験者等の体験談をもとにした交流の機会での不安の解消を図るサロンを実施。（R2～） ○産後ケア事業の対象者を産後1年未満に拡げ、宿泊型、通所型に加え訪問型を新たに追加し実施。（R4～） ○妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近な相談に応じる伴走型相談支援と経済的支援（たまごギフトひよこギフト）を一体的に実施するまつさかすくすく応援パッケージを実施。（R5.1～） ○まつさかすくすく応援パッケージにびよママ面談（妊娠8か月面談）を追加し実施。（R5～） ○特定不妊治療助成事業の助成回数を拡大して実施（保険適応実施から通算8回まで）（R5～） ○産前産後サポート事業を開始（R5～） ○子育て世帯包括支援センター（母子保健）と、こども家庭総合支援拠点（児童福祉）が一体化した「松阪市こども家庭センター」を設置（R6～） ○妊娠届出時と赤ちゃん訪問時に「子育てガイド&たまひよプラン」を手交し、出産・育児に関する見通しが持てるよう保健師等が保護者と共に個別プランを立案（R6～） ○多胎妊産婦等サポーター事業を開始（R6～） ○新生児聴覚スクリーニング検査費用助成を開始（R6～） ○1か月児健康診査受診費助成を開始（R6～） ○父親の家事育児に関する知識とスキルアップのための「まつさかスマイルパパ講座」を実施。（R6～） ○多胎児を妊娠または子育て中の家庭を対象に先輩ママ訪問を実施。（R7～） ○特定不妊治療費助成の対象に着床前胚染色体異常性検査（PGT-A）を追加。（R7～）										
③ 子育て	1	保育園の待機児童数（4/1国基準）	0 人	0 人	0 人			0 人	→	C	新たにR5.4.1から私立保育園1園を開設したこと等により、各年度の4月1日時点の待機児童数を6年連続で0とすることができた。
	2	こども誰でも通園制度の実利用者数	0 人	68 人	63 人			100 人	↑	C	令和8年度からの本格実施に向け試行的に実施を始め、就労要件等を問わずこどもを預けたい保護者等のニーズに対応することができた。

松阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価結果一覧表

施策名	番号	指 標	現状値 (R5)	R6	R7実績値	R8	R9	目標値 (R9)	種別	評価	内部評価
③ 子育て	3	児童虐待による死亡等重篤事例件数	0 件	0 件	0 件			0 件	→	C	児童虐待による死亡等重篤な事例は発生しておらず、今後も関係機関と連携を図りつつ、迅速な介入と適切な支援を行う。
	4	「毎日朝食を食べている」と回答した児童生徒の割合	小 92.8 % 中 91.0 %	92.0 % 90.9 %	91.3 % 89.4 %			96.0 % 92.0 %	↑	E	少しずつ毎日朝食を食べる児童生徒の割合が低下してきている。生活の乱れや家庭環境等の原因が考えられるが、今後、食育の推進とともに、家庭への啓発もより促進していく必要がある。
	5	むし歯のない児童生徒の割合	小 59.8 % 中 65.5 %	62.3 % 71.2 %	64.8 % 74.2 %			69.5 % 71.5 %	↑	A	フッ化物洗口を行う学校・学年が増え、従来の歯磨き指導も継続して行うことにより、むし歯予防に対する意識も高くなってきている。
	6	子ども発達総合支援センター利用者アンケートの満足度	91.6 %	93.3 %	92.0 %			95.0 %	↑	E	R7は前年度と比較すると1.3%の減となり、目標値も下回っている。アンケート結果を踏まえ、引き続き、適切な支援の提供、利用者の満足度の向上に努めていく。
	7	就園・就学及び発達に関する相談についての個別保護者アンケート満足度	90.0 %	93.1 %	100.0 %			95.0 %	↑	S	R7は目標値を上回り、満足度100%に達した。相談内容は多岐にわたり、複数の要因を含む場合が多いため、引き続き、相談者に寄り添った対応を心がけていく。
	8	指定管理者制度に変更した放課後児童クラブ数	0 クラブ	0 クラブ	0 クラブ			10 クラブ	↑	E	指定管理者制度への移行に向けて、提言書に基づき運営基本方針の策定など努めたが、指定管理者制度への移行ができなかったため、引き続き移行できるよう取組を進めていく。
これまでの主な取組 ○私立認可保育園及び公立保育園の新設・移転・改築を実施し、定員増（私立10園計629人増、公立1園計70名増）を行いました。（H28～R6） ○18歳未満の兄弟がいる第3子以降の保育料等を免除するワンモアベビー支援事業を開始しました。（R2～） ○私立認可保育園及び公立保育園で発生する紙おむつを園での回収処分を開始しました。（公立R3・私立R5～） ○公立保育園全園で主食炊飯を開始しました。（R3～） ○公立幼稚園・こども園の預かり保育実施園を6園増やし、10園で開始しました。また、一時預かり事業（幼稚園型）を、市内私立幼稚園1園で令和3年10月より実施しました。（R3～） ○松阪市立保育園で土曜一日保育実施園を3園（第一、春日、三雲南）増やしました。（R4～） ○病児施設の一時的預かり事業で、無料チケットの配布を開始（R4～）並びに認可外保育施設の一時的預かり事業で利用支援チケットの配布、公立の子育て支援センターで一時的預かり事業を開始しました。（R5～） ○育児休業からの復職支援を目的として入園予約制度を導入しました。（R6～） ○こども誰でも通園を令和6年7月から三雲北こども園で開始しました。（R6～） ○保護者・保育士の負担軽減を目的に、0・1歳児クラス向けのエプロン・手口ふき定額利用サービスの半額補助を開始しました。公立は全園で導入し、私立園では希望園9園への補助を実施しました。（R7～） ○子育て支援センター「げんきっこ」に加え、「森のくまさん」で土日開所を開始しました。さらに「森のくまさん」では土日に限り、利用者の兄弟姉妹であれば就園児も利用可能となりました。（R7～） ○児童育成支援拠点事業及び親子関係形成支援事業を児童家庭支援センターよいほに委託、実施しました。（R6～） ○子育て世帯訪問支援事業を三重県こどもNPOサポートセンターに委託、実施しました。（R6～）											

松阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価結果一覧表

施策名	番号	指 標	現状値 (R5)	R6	R7実績値	R8	R9	目標値 (R9)	種別	評価	内部評価
④こどもの教育	1	小中学校における外国人児童生徒の就学率	100.0 %	100.0 %	100.0 %			100.0 %	→	C	昨年度に引き続き100%を維持することができた。引き続き就学率100%を維持できるよう取り組んでいく。
	2	教育データの利活用を通じて、学習指導や校務効率化に取り組んだ学校の割合	0.0 %	72.3 %	74.5 %			80.0 %	↑	A	中学校において、約10%増加した。今後も ICT活用の日常化を進めていく。
	3	学級満足度尺度調査（Q-U）の満足度	67.0 %	68.0 %	66.8 %			69.0 %	↑	E	前年度に比べ1.2%低下となったが、全小中学校で子どもたちの関わりの力を育む取組を進めることで、学級の中で気の合う小グループがいくつか存在しながら子どもたちが満足している状態となり、学級全体の関わり合いがより活発になっていく中で起きている過程であると捉えている。今後も誰もが安心して過ごせる学級づくりを進めていく。
	4	「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童生徒の割合	74.2 %	73.3 %	75.2 %			80.0 %	↑	E	R7は前年に比べて1.9%増加となったが、目標値よりも低い結果となった。今後、地域と連携したキャリア教育や総合的な学習の時間の学習をさらに充実させていく。
	5	小学校1校あたりの司書派遣回数	33 回	33 回	33 回			36 回	↑	E	今年度も例年通り、市図書館司書を派遣し、学校読書室の環境整備を行うとともに、児童の読書意欲向上や家庭での読書習慣の形成を図った。また、読書ボランティア同士の交流を目的とした交流会を開催し、その中で学校司書との連携方法や具体的な取り組み事例について意見を共有した。今後も引き続き、学校司書と読書支援ボランティアが連携し、読書活動の推進を図る。
	6	中学校1校あたりの司書派遣回数	78 回	78 回	78 回			81 回	↑	E	今年度も例年通り、市図書館司書を派遣し、学校読書室の環境整備を行うとともに、生徒の読書意欲向上に努めた。また、読書ボランティア同士の交流を目的とした交流会を開催し、その中で学校司書との連携方法や具体的な取り組み事例について意見を共有した。さらに、図書館を使った調べる学習コンクールでは、昨年度より応募点数が83点増加し、読書意欲向上だけでなく、図書館を活用した学びの楽しさを実感できる機会を生徒に提供した。加えて、ビブリオバトルでは昨年度より参加者が4名増加し、生徒がより多くの図書に触れる機会を確保した。

松阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価結果一覧表

施策名	番号	指 標	現状値 (R5)	R6	R7実績値	R8	R9	目標値 (R9)	種別	評価	内部評価
④ 子どもの教育	7	1日10分以上読書（授業以外）している割合	52.2 %	53.8 %	43.2 %			60.0 %	↑	E	インターネットの急速な普及により、子どもたちを取り巻く読書環境や読書習慣は大きく変化している。こうした状況を踏まえ、今後は学校・家庭・地域が連携しながら取組を一層推進し、読書環境の充実を図る必要がある。特に、家庭における読書習慣の確立をめざすとともに、多様なニーズに対応するため電子図書の整備・充実を進めていくことが求められる。
	これまでの主な取組 ○すべての学校に1人1台のタブレットを整備し、授業等での活用を開始しました（R2～） ○ICTを活用した持ち帰り学習や、感染症対策等により学校に登校できない場合のオンライン学習に取り組みました（R3～） ○「まつさかGIGAフェスタ」を開催し、児童生徒のICTを活用した新たな学びに学校・地域・家庭が一体となって取り組めるよう周知活動を行いました。（R4～） ○すべての学校で週1回（10分間）「スリンプルプログラム（関わり活動の演習）」を導入し、児童生徒の自尊感情・自己肯定感の向上など、自分と他人を認め、尊重していく人間関係の構築をめざしました。（R4～） ○学校読書室へ図書館司書を配置し、環境整備や読書ボランティアの育成を行いました。（継続） ○一部の学校で導入している松阪市図書館と連携のできるシステム及び機器を更新し、業務の効率化を図りました。（R4～） ○読書支援ボランティア交流会を実施し、学校司書との連携や具体的な取り組み事例を共有しました。（R7～）										

分野	Ⅲ. 雇用創出	基本目標	地域産業の活性化により雇用を生み、みんながいきいきと働けるまちをつくります								
指 標	現状値 (R5)	R6	R7実績値	R8	R9	目標値 (R9)	種別	評価	内部評価		
いきがいをもって働ける魅力ある環境への満足度	2.79 / 5	3.26 / 5	2.83 / 5			3.00 / 5	↑	E	前年に比べて0.43%低下した。引き続き働く場の充実に取り組んでいく。		

施策名	番号	指 標	現状値 (R5)	R6	R7実績値	R8	R9	目標値 (R9)	種別	評価	内部評価
① 地域産業の振興	1	高校生の地元就職率	45.5 %	45.4 %	43.5 %			48.0 %	↑	E	前年に比べて1.9%低下し、目標値よりも少ない結果となった。引き続き、若者の地元就職及び地元定着の取り組みを進めていく。
	2	企業案内掲載企業数	100 社	98 社	107 社			120 社	↑	D	前年に比べて9社増加したが、目標値よりも少ない結果となった。引き続き松阪管内市町の広報への掲載や松阪商工会議所・各商工会と連携し掲載企業の増加に努めたい。
	3	認定農業者等地域の担い手数	207 経営体	201 経営体	207 経営体			250 経営体	↑	E	就農準備資金や経営発展事業などを活用してもらうことにより、地域農業に永く従事してもらいやすい環境を整備する。
	4	モニタリング対象10施設入込客数増減率（平均）	100.0 %	104.0 %	105.0 %			110.0 %	↑	C	旅行者が松阪の歴史・文化・食・自然を満喫できるよう、観光資源の磨き上げなどに取り組むとともに、「松阪市に行きたい」と旅先に選択していただけるよう引き続きPRに努めていく。

松阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価結果一覧表

施策名	番号	指 標	現状値 (R5)	R6	R7実績値	R8	R9	目標値 (R9)	種別	評価	内部評価
① 地域産業の振興	5	観光消費額（推計）増減率	100.0 %	146.0 %	164.0 %			110.0 %	↑	S	観光事業者等と連携し、地域の観光資源を発掘し、松阪を訪れた際の消費額増加に取り組むことで滞在時間の延伸を図る。
	6	市内事業者に対する連携支援件数（累計）	10 件	20 件	30 件			40 件	↑	C	引き続き、市内企業の販路開拓、新商品開発等にかかる連携を推進する。
	7	ふるさと応援寄附金に係る返礼品登録数	799 件	923 件	1,123 件			1,100 件	↑	S	返礼品を通じた松阪市の魅力発信に向け、松阪牛など地域特産品等の返礼品を拡充（200品）した。引き続き魅力ある返礼品の拡充に取り組んでいく。
	8	松阪ブランドの新たな販路確立（累計）	25 件	39 件	28 件			125 件	↑	E	情報発信力の高い関東圏でのPRに加え、地域特産品を使用した料理教室の開催等により、地産地消の推進に取り組んでいく。
	9	特産松阪牛の素牛導入頭数（市内農家）	106 頭	96 頭	88 頭			120 頭	↑	E	兵庫県産素牛の価格高騰が続いておりR5年度以降は減少が続く。R6年、R7年度と素牛導入に際した補助金交付対象頭数の増加を図っており、引き続き兵庫県産素牛の導入推進に取り組んでいく。
	10	年間の素材生産量	40,300 m³	44,697 m³	54,548 m³			48,000 m³	↑	S	素材生産量の拡大について、主伐の推進に向けた「緑の再生事業」及び「森林作業道整備事業」、木材搬出の効率化につながる林道舗装と架線集材支援など、引き続き取組を進める。
これまでの主な取組 ○卒業予定者の地元就職の促進資料として、地元の求人予定事業所の紹介ガイドブックを作成し、管内及び周辺高等学校等に配布する取り組みを行った。（継続） ○事業所の抱える課題解決を図る為、松阪市産業支援センターによる相談窓口の設置、各種セミナーの開催、専門家派遣事業等を実施（継続） ○豪商のまち店舗改装支援事業にて、市内店舗の改修費用の一部支援を実施（継続） ○起業を志すあらゆる段階にいる女性起業家をフォローする体制を構築し、創業しやすい環境整備を行う。（新規） ○農業委員会等関係機関と連携し、利用権設定や農地あっせんを行った。 ○多面的機能支払交付金に係る「地域資源保全管理構想」のある地域において、実質化した人・農地プランの策定を進めた。 ○兵庫県産素牛を導入した市内の肥育農家に対し補助金を交付し、兵庫県産子牛の導入を推進した。（継続） ○ふるさと納税の推進に向け、寄附者ニーズに応じた返礼品の拡充とともにサムネイル画像の改修を進め、返礼品の魅力を高めました。（継続） ○森林所有者や林業事業体を対象に、搬出間伐や植栽、作業道設置に対する補助を行うなど、素材生産量を増やすための取り組みを行った。（継続） ○市内企業の経営力を強化するため、産学官金連携を支援し、共同開発や販路拡大等を促進しました。（継続） ○観光協会をはじめとした観光事業所等と連携しながら、松阪を旅先に選んでもらうよう観光PRし、観光客誘致に努めた。（継続）											

松阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価結果一覧表

施策名	番号	指 標	現状値 (R5)	R6	R7実績値	R8	R9	目標値 (R9)	種別	評価	内部評価
② 企業誘致	1	企業立地件数（累計）	2 件	3 件	5 件			12 件	↑	D	引き続き、新規立地及び市内立地済企業による再投資を推進する。
	これまでの主な取組 ○三重県をはじめ関係機関と連携しながら、企業立地に関する優遇制度をPRし、企業誘致活動を展開した。（継続） ○新たな産業用地の整備にかかる計画を策定し、造成工事が完了し、分譲を開始した。（継続）										

施策名	番号	指 標	現状値 (R5)	R6	R7実績値	R8	R9	目標値 (R9)	種別	評価	内部評価
③ 仕事の創出	1	創業に向けて相談を行っている者	54 人	57 人	63 人			60 人	↑	S	R6より6人増となった。目標数値達成に向け、引き続き相談しやすい環境整備に努める。
	2	相談支援から創業につながった人数	20 人	33 人	24 人			35 人	↑	E	R6から9人減となった。目標数値達成に向け、引き続き創業しやすい環境整備に努める。
	これまでの主な取組 ○創業セミナー、子育て世代を対象としたビジネスセミナーを開催。（継続）										

施策名	番号	指 標	現状値 (R5)	R6	R7実績値	R8	R9	目標値 (R9)	種別	評価	内部評価
・④ ワーク・ライフ・バランスの推進	1	余暇の充実度	64.6 %	67.1 %	65.4 %			65.0 %	↑	S	目標値に達しているが、R6より減となった。引き続き意識啓発に努める。
	これまでの主な取組 ○ワーク・ライフ・バランスの啓発と普及を目的として、関係課と連携し、啓発に関する資料を市内事業所へ送付しました。										

松阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価結果一覧表

分野	IV. 地域づくり	基本目標	地域の絆を深め、安全で安心な住みよいまちをつくりま						
指 標	現状値 (R5)	R6	R7実績値	R8	R9	目標値 (R9)	種別	評価	内部評価
総合的にみて松阪市は住みやすいまちと 感じる人の割合	80.8 %	80.3 %	77.9 %			85.0 %	↑	E	R7実績では2.4ポイント低下し、現状値 (R5)を下回った。引き続き地域づくりの 取組を進めていく。
住民自治協議会のまちづくり活動に参加 している人の割合	50.4 %	51.2 %	49.5 %			60.0 %	↑	E	R7実績では1.7ポイント低下し、現状値 (R5)を下回った。引き続き地域づくりの 取組を進めていく。
市民と行政との協働を推進するまちづく りの満足度	2.93 /5	3.32 /5	2.96 /5			3.05 /5	↑	E	R7実績では0.36ポイント低下した。引き続 き地域づくりの取組を進めていく。

施策名	番号	指 標	現状値 (R5)	R6	R7実績値	R8	R9	目標値 (R9)	種別	評価	内部評価
①コミュニティづくり	1	指定管理者制度導入コミュニ ティセンター数	1 地区	3 地区	3 地区			10 地区	↑	E	R7年度はモデル期間最終年度であり指定管 理期間が短期間となることから新規導入 はなかった。個別対応や説明会の開催など による地域への丁寧な説明に努め、導入数 の増加を図っていく。
	2	市民活動センター活動団体の 新規登録件数	20 団体/年	25 団体/年	22 団体/年			20 団体/年	→	C	R5と比べると2団体増加しており、昨年度に 続き目標を達成することができた。引き続 き活動団体の発掘及び団体間の交流を図 り、地域力の底上げに取り組んでいく。
	3	お元気応援ポイント事業団体 登録数	742 団体	792 団体	813 団体			800 団体	↑	S	目標は達成しているが、さらに団体登録の 参加を促進していくための周知活動を行っ ていく。
	4	「みえ松阪マラソン」に対す るランナーからの総合評価	80.9 点	86.7 点	84.2 点			85.0 点	↑	B	大会初の雨天開催となったことにより、沿 道や各会場で雨によるランナーへの負担が 大きくなったことで評価が減少した。雨対 策を講じることで、ランナーからの評価を 向上させる取り組みを継続したい。
	5	「みえ松阪マラソン」開催に おける経済波及効果	101,347 万円	117,950 万円	104,940 万円			120,000 万円	↑	E	雨天開催により、沿道応援者が減少したと ころが経済波及効果にも影響したと分析す る。一方ランナー等参加者は前年度を上 回っており、地域一体となったおもてなし の応援が継続できるよう取り組む。
	6	気軽にスポーツを行うことが できる環境づくりに対する満 足度	3.00 /5	3.36 /5	3.05 /5			3.10 /5	↑	D	HPやSNSを積極的に活用し、スポーツ大会や スポーツイベントの情報発信の強化に取り 組むとともに、スポーツ施設の計画的な整 備を推進する必要がある。
	これまでの主な取組 ○コミュニティセンターモデル地区実施検証検討会を立ち上げ、今後のコミュニティセンターの在り方の検証及び検証結果の報告会を開催しています。(R5～) ○高齢者の方が地域の様々な集いの場に積極的に参加できるよう、団体活動に参加した方にスタンプを付与し、スタンプが20個たまれば参加賞をお渡ししています。(継続) ○県内唯一のフルマラソン、「みえ松阪マラソン」を12月に開催。(R4～) ○スポーツと連動したまちづくりを進めるため「松阪市スポーツ推進計画」を策定。(R4) ○スポーツ施設の現状把握や課題整理、個別施設毎の機能保持、総量コントロール及び財政負担の平準化を計画的に推進する目的で「松阪市スポーツ施設長寿命化計画」を策定(R6)										

松阪市まち・ひと・しごと創生総合戦略評価結果一覧表

施策名	番号	指 標	現状値 (R5)	R6	R7実績値	R8	R9	目標値 (R9)	種別	評価	内部評価
②安全・安心	1	交通事故死傷者数（1月～12月）	317 人	292 人	238 人			270 人	↓	S	交通安全教育や啓発を実施するとともに、関係機関と連携して様々な交通安全対策を実施した。令和7年の交通事故死傷者数は大きく減少し、目標値に達成した。
	2	犯罪をなくし安全で安心して暮らせるまちづくりの満足度	3.00 /5	2.89 /5	2.98 /5			3.05 /5	↑	E	総犯罪件数自体は横ばいで、特殊詐欺等の件数が増加し、満足度は微増にとどまった。条例の周知及び啓発活動を続けていく。
	3	災害に対する備えをしている市民の割合	37.7 %	50.3 %	44.9 %			50.0 %	↑	C	令和6年度は能登半島地震の影響により、令和5年度と比較し12.6ポイントの上昇となったが、令和7年度については、令和6年度と比較し5.4ポイントの減少となった。発災直後の高い防災意識は時間の経過とともに低下傾向にあるとみられる。
	4	市の防災対策に関する満足度	2.90 /5	2.82 /5	2.90 /5			3.00 /5	↑	E	令和6年度と比較すると僅かに上昇しているものの、各年度を比較するとほぼ横ばいの状態が続いている。防災情報発信の強化と防災講話・防災訓練等の防災啓発活動の充実に取り組む必要がある。
	5	住民自治協議会における地区防災計画の策定率	16.3 %	25.6 %	32.6 %			34.9 %	↑	B	R7年度中、新たに3地区の地区防災計画が策定された。引き続き、地区防災計画セミナー等の開催を通じて地区防災計画の策定を支援し、地域防災力の充実強化に取り組んでいく。
	6	浸水対策事業に対する市民満足度	2.83 /5	2.66 /5	2.81 /5			2.90 /5	↑	E	今後も浸水被害の軽減を目標に整備を進めていく。
	これまでの主な取組 ○地域の実情に応じた防災計画「地区防災計画」策定支援として、各住民自治協議会を対象に「地区防災計画セミナー」を開催しました。（R3～） ○令和3年3月「松阪防災の日」制定及び災害対策基本法の改正等に伴い平成29年発行の防災啓発冊子「災害にそなえる」の内容を新しい情報に改訂し各戸配布を行いました。（R3～） ○三重県より「伊勢湾沿岸【三重県区間】高潮浸水想定区域図」が公表されたことに伴い、市ホームページに松阪市高潮ハザードマップを作成しました。（R3～） ○市内の1級河川及び2級河川における想定最大降雨に対応した洪水ハザードマップの作成と配布を行いました。（R1～） ○浸水地域を重点的に浸水被害の軽減に向け、雨水排水路改修工事と雨水排水ポンプの施設整備工事を継続して実施しています。 ○交通安全教育指導員「とまとーず」による交通安全教室を開催しました。（H18～） ○松阪地区生活安全協会、松阪警察署と連携した街頭啓発、出前講座などによる特殊詐欺被害防止をはじめとした防犯啓発活動に取り組みました。（H28～） ○防犯カメラを設置する自治会を対象に設置等費用を支援することで地域の防犯や治安向上を図った。（H30～） ○犯罪被害により日常生活が困難となった犯罪被害者やその家族を支援する制度を創設した。（R1～） ○市内在住65歳以上の方を対象に特殊詐欺等被害防止機器購入補助金制度を創設し、被害を防止する取り組みをはじめました。（R3～）										